

「公共工事コスト構造改善プログラム」

【施策名： 施策7技術基準類の見直し 1-①設計基準類の見直し】

## コンクリート二次製品の活用によるコスト縮減

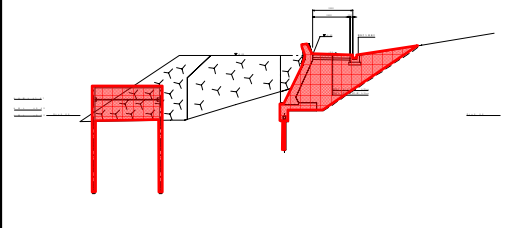
工事名：直轄海岸災害復旧事業（直立堤災害復旧工事）

概要：（従来）  
鋼矢板二重締切工+直立堤（Co打設） ⇒ （新）  
消波工締切+プレキャスト直立堤

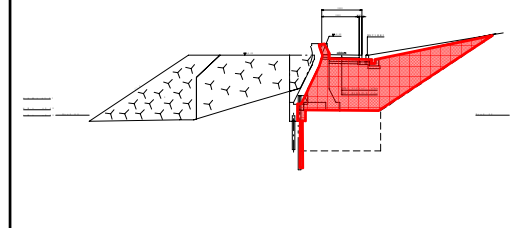
効果：

- ① 従来、鋼矢板二重締切施工では3ヶ月以上、直立堤本体施工着手まで工期を要した。また、日本海側特有の冬期風浪時（12月～3月）前の工事完成が必要であったが、直立堤のプレキャスト化による施工により、時間的効率化（工期短縮）が可能。
- ② 消波工を仮締切に使用することにより、消波工の同時施工が可能。  
■ 直立堤施工費（100m当たり）を、265百万円から220百万円に改善。  
（改善額 45百万円、改善率 約17%）

断面図（従来）



断面図（新）



施工写真

